

ラスタ表現とベクタ表現の比較

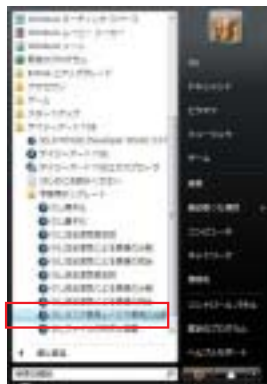
〔ラスタ画像とベクタ画像〕

画像データはラスタ画像とも呼ばれ、これに対して輪郭線データや線画など、標準化されていない図形データはベクタ画像と言います。ベクタ画像は階調表現には向いていませんが、解像度やデバイスに依存せず、拡大縮小などの変形が自在にできます。アウトラインフォントは典型的なベクタ画像で、輪郭線は線分や円弧、3次曲線などの数式で表現されます。ペイント系ソフト、フォトタッチソフトはラスタ画像を扱い、ドロー系ソフトはベクタ画像を生成しています。



テンプレートの起動方法

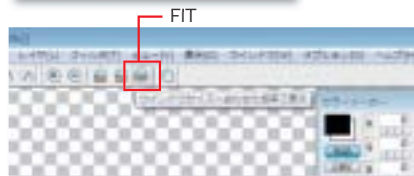
- 1 Windowsのタスクバーにある「スタート」ボタンをクリックします。
- 2 「スタート」メニューの「プログラム」、「デジアート7SE」「学習用テンプレート」から「ラスタ表現とベクタ表現の比較」を選択します。
- 3 「ラスタ表現とベクタ表現の比較」を選択すると学習用テンプレートが起動します。



- 4 テンプレートが起動したら[最大化]をクリックし、画面を最大化します。



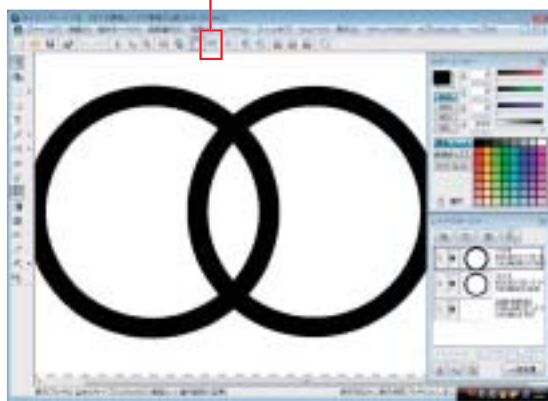
- 5 ツールバーの FIT をクリックし、テンプレートをキャンバスに合わせます。



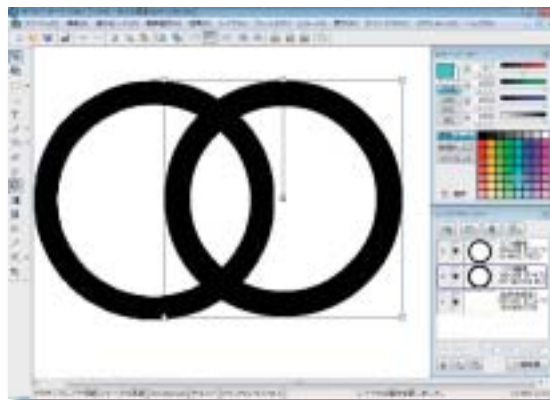
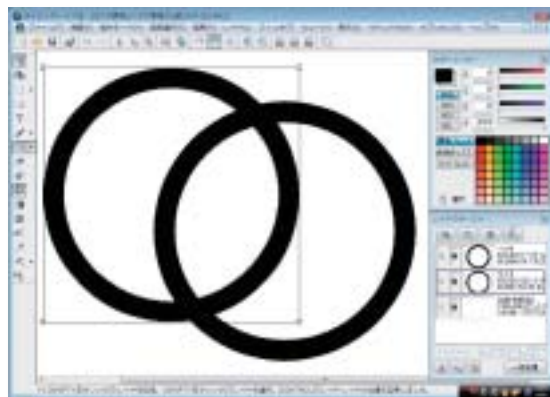
操作手順

- 1 ツールバーの「レイヤの位置と倍率」を選択します。
- 2 レイヤマネージャからラスタのレイヤを選択します。
 - 1 [ラスタ]のレイヤを選択します。
 - 2 選択するとレイヤが青い枠で囲まれ、キャンバス上の画像の四隅に () が表示されます。

レイヤの位置と倍率



- ③ ラスタを、キャンパスの中心へドラッグして移動します。
- ④ [レイヤマネージャ] からベクタを選択します。
- ⑤ ベクタを先程移動したラスタと少し重なるように配置します。
右図を参照してください。



- ⑥ ツールバーの[表示の拡大]をクリックし画面を拡大します。
(繋ぎ合わせが画面の中心になるように拡大します。中心からずれた場合はツールバーの[表示の位置と倍率]を選択し、ドラッグをしながらキャンパスの位置を修正します)

表示の位置と倍率 表示の拡大

